



新丸山ダム転流工着工式を開催しました

平成29年4月23日（日）岐阜県可児郡御嵩町にて「新丸山ダム転流工着工式」を地元選出の国会議員をはじめ、関係自治体の長・県議会議員、市町議会議員、地元代表者等、約200名の参加のもと開催しました。

式典では大野泰正国土交通大臣政務官より「地元の皆様、地権者の皆様本当にありがとうございます。今後より一層スピードアップを図って新丸山ダム事業を推進していきたい。」との挨拶がありました。また、来賓の皆様方から「新丸山ダムの一刻も早い完成を期待したい。」などのご祝辞を頂きました。

式典では鍬入れ式とくす玉開披を行い、八百津保育園園児による鼓笛隊が披露されました。





くす玉開披



八百津保育園児による鼓笛隊披露



【転流工とは】
ダム本体工事を安全・円滑に進めるため、洪水時に木曾川（ダム湖）の水を迂回させる施設です。
完成すれば、現在の丸山ダムの機能（洪水調節や発電の機能）を維持したまま、ダム本体工事を行うことができます。

新丸山ダム建設促進期成同盟会 要望書提出

転流工着工式終了後、新丸山ダム建設期成同盟会会長藤井美濃加茂市長から「本体工事の早期着工と完成を求める」要望書が、大野国土交通大臣政務官、金子衆議院議員、渡辺参議院議員、足立参議院議員、塚原中部地方整備局長に手渡しされました。
その後、意見交換を兼ねた昼食会が行われました。メニューは今話題の「ダムカレー」でした。



要望書を読み上げる藤井会長